

平成31年度予算見積調書

課室名：生産振興課

担当名：花き・果樹・特産・水産担当

内線：4146

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B67	茶業研究所試験研究費		一般会計	農林水産業費	蚕糸特産及び水産業	蚕糸特産研究費	茶業研究所費	
事業期間	昭和22年度～	根拠法令	なし		宣言項目	09 儲かる農業の推進		
					分野施策	040937 強みを生かした収益力ある農業の確立		
1 事業概要	埼玉農業の競争力を強化するため、栽培管理技術の開発や、新品種の育成などの試験研究を実施する。		5 事業説明					
(1) 環境変化に対応した栽培技術開発	3,024千円	(1) 事業内容		ア 環境変化に対応し安定生産が可能となる栽培管理技術の開発		3,024千円		
(2) 県オリジナル品種の育成普及	5,161千円	イ 県オリジナル品種（埼玉ブランド）となる新品種の育成・普及		イ 県オリジナル品種（埼玉ブランド）となる新品種の育成・普及		5,161千円		
(3) 地域に根ざした研究指導の推進	0千円	ウ 地域に根ざした生産技術の研究・指導の推進		ウ 地域に根ざした生産技術の研究・指導の推進		0千円		
(4) 調査研究	4,787千円	エ 調査研究		エ 調査研究		4,787千円		
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(2) 事業計画（目標、達成水準、今後の計画等）					
3 地方財政措置の状況 なし			ア 環境変化に対応し安定生産が可能となる栽培管理技術の開発		2 課題（うち新規1）			
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 人件費 9,500千円×13人=123,500千円			イ 県オリジナル品種（埼玉ブランド）となる新品種の育成・普及		2 課題（うち新規0）			
			ウ 地域に根ざした生産技術の研究・指導の推進		0 課題（うち新規0）			
			エ 調査研究		3 課題（うち新規0）			
			(3) 事業効果		新品種、開発された新技術が普及されることにより、本県農業の発展を支える。			
			(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況		独立行政法人（農研機構等）、都道府県、大学、民間企業や農業者と共同して国庫資金等を活用して研究開発を実施する。また、農業関係団体、民間企業や農業者から委託を受け、問題解決のための試験研究を行う。			
			(5) その他		【予算項目別対応研究所】 茶業研究所			
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
決定額	12,972	3,360	5,102				4,510	1,404
前年額	11,568	3,360	5,799				2,409	